

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro宮前平		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/16		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様なイベントを設定している。	繰り返しにならないようにしている。	イベントそれぞれに具体的な目標設定を行う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画とイベントやその他活動の関係性が曖昧になっている。	・具体的な支援技術不足 ・説明不足	・放課後等デイサービスガイドラインの読み合わせ、研修 ・発達支援、発達段階の学習 ・広報誌の作成等による実際の支援場面の紹介 ・送迎時のご説明の具体化
2	保護者支援（ペアレントトレーニング）の機会が少ない。	同上	・支援技術向上によって、具体的な支援の説明ができるようになる ・広報誌の作成等による、支援技術の紹介
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		toiro宮前平		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・遊ぶスペースは分けて動線は工夫している。 ・おもちゃやテーブルの位置が決まっている為、利用定員が多くても、スペースを有効活用できている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		3	2	・配置数が適切であることの方が多い。	・もっと職員配置数が増やせたら、安全に過ごせる。また送迎で足りないことが減る。 ・個別対応児童が多いと職員不足だと感じる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	0	・全体的にシンプルな構造になっている為、視覚から得る情報が少なく分かりやすい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	・温度調整や掃除をしっかりと行っていることで、こども達の過ごしやすさにつながっていると思う。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	1	・こどもの感情の起伏によって、教室を変更したり廊下を利用して落ち着かせながら話すことができる環境であると思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・以前よりより分かりやすくPDCAサイクルが公表されている為、少しずつ業務改善がされているように感じる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者との関わりが少ないが、いただいた意見から業務改善の共有があるため、分かりやすい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・イベントの振り返りや連絡事項共有の際、ヒヤリ共有なども行っている為、改善に繋がっていると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・監査などで指摘されたことなどを元に改善に繋がられていると思う。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・月1～2回の研修にて、普段意識できていないところなどが明確になるため、資質の向上が出来る。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・細かいところまでは分からないものの、児童別に一人ひとりに合った支援内容が公表されていると感じる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・職員間で意見共有を行っている為、より良いサービスの提供ができるよう検討されていると思う。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・定期的に計画を共有していることで、改めて立ち位置や支援の見直しができていると思う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		・様々な視点から子ども達が成長かつ楽しめるように工夫がされていると思う。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		・次の日のミーティング内で振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		・ケア記録に記入し、モニタリング会議で共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		・イベントの中で自己決定の機会が多くある。 ・遊びやイベントなど、子どもが意見や選択ができる環境であると感じる。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	・保護者参加イベントを開催することで保護者同士で交流する機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・ヒヤリ以外にも苦情共有がされるようになったことで更なる改善が図れるように工夫されている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・ブログの投稿。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・事業所以外に情報を持ち出さないよう徹底されている為、十分留意できていると感じる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・様々な視点からアプローチや視覚支援を行うなどの工夫がされている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・書面だけでなくWORKSでも共有することにより、職員間での情報周知がより行われていると思う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修などで改めて虐待などの適切な対応について知ることで、より良いサービス提供につながっていると感じる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			